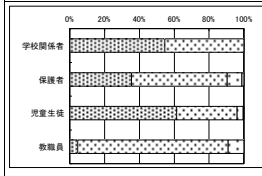
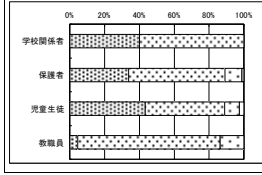
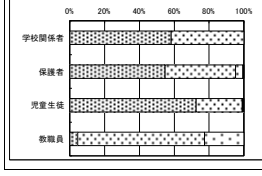
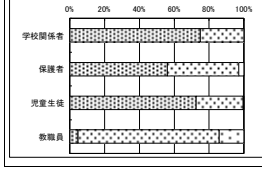
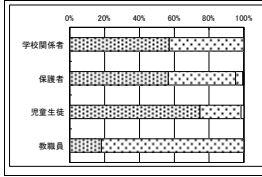


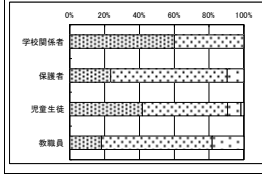
<p>1 家族地域へのあいさつ等</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>															
<p>生徒は、家族や地域の方に対するあいさつや場に応じた言葉遣いができている。</p>  <table border="1"> <caption>1 家族地域へのあいさつ等</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>90</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>96</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>91</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	対象	評価4 (%)	評価3 (%)	学校関係者	100	0	保護者	90	10	児童生徒	96	4	教職員	91	9	<p>学校関係者が100%、保護者が90%、生徒が96%、教職員が91%となっている。</p> <p>○挨拶についてはおおむね良好な数値を示している。地域からも「生徒から挨拶をしてくれて嬉しかった」などのお言葉をいただくこともある。引き続き、「地域を元気にする挨拶」の指導に取り組んでいきたい。</p>
対象	評価4 (%)	評価3 (%)														
学校関係者	100	0														
保護者	90	10														
児童生徒	96	4														
教職員	91	9														

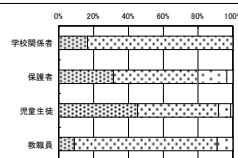
<p>2 稜南中の誇り</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>															
<p>生徒は、稜南中に誇りを持っている。</p>  <table border="1"> <caption>2 稜南中の誇り</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>89</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>89</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>86</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>	対象	評価4 (%)	評価3 (%)	学校関係者	100	0	保護者	89	11	児童生徒	89	11	教職員	86	14	<p>学校関係者が100%、保護者が89%、生徒が89%、教職員が86%となっている。</p> <p>○教職員は、R3上期と比較して5%向上している。</p> <p>◇「稜南プライドを持ち、信頼される生徒の育成」に向けて、ホームページや学校メールの活用、新聞投稿の推進など積極的な情報発信を推進していきたい。</p>
対象	評価4 (%)	評価3 (%)														
学校関係者	100	0														
保護者	89	11														
児童生徒	89	11														
教職員	86	14														

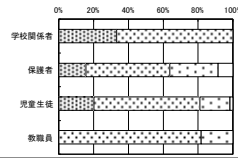
<p>3 交通ルールを守り登下校</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>															
<p>生徒は、交通ルールを守り登下校できている。</p>  <table border="1"> <caption>3 交通ルールを守り登下校</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>95</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>99</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>77</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table>	対象	評価4 (%)	評価3 (%)	学校関係者	100	0	保護者	95	5	児童生徒	99	1	教職員	77	23	<p>学校関係者が100%、保護者が95%、生徒が99%、教職員が77%となっている。</p> <p>▲学校関係者、保護者、生徒は高い数値を示しているが教職員は、77%となっており、他との意識の差が見られる。しかし、上期評価と比較して18%向上している。稜南坂の通学方法を変更したことの影響が現れてきていると思われる。</p> <p>◇登校時もそうだが、より集団となる下校時の交通指導については、部活動終了時等の継続的な指導や全校集会等での担当からの定期的な発信を継続していく。</p>
対象	評価4 (%)	評価3 (%)														
学校関係者	100	0														
保護者	95	5														
児童生徒	99	1														
教職員	77	23														

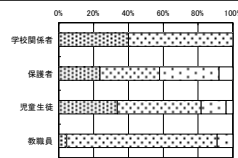
<p>4 自分の命や人権</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>															
<p>生徒は、自分の命や人権を大切にしている。</p>  <table border="1"> <caption>4 自分の命や人権</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>97</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>100</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>86</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>	対象	評価4 (%)	評価3 (%)	学校関係者	100	0	保護者	97	3	児童生徒	100	0	教職員	86	14	<p>学校関係者が100%、保護者97%、生徒が100%、教職員が86%となっている。</p> <p>○生徒の評価が100%となっており、これまでの本校の様々な取組の成果が現れてきたものとする。今後も、ソーシャルスキルトレーニングに学校総体として取り組むとともに人権教育や道徳教育の推進に力を入れていきたい。また、言語環境の整備にも継続して取り組んでいきたい。</p>
対象	評価4 (%)	評価3 (%)														
学校関係者	100	0														
保護者	97	3														
児童生徒	100	0														
教職員	86	14														

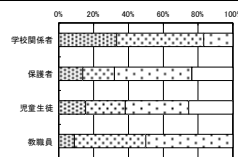
<p>5 友達と仲良く</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>															
<p>生徒は、友達と仲良く生活することができている。</p>  <table border="1"> <caption>5 友達と仲良く</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>95</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>98</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	対象	評価4 (%)	評価3 (%)	学校関係者	100	0	保護者	95	5	児童生徒	98	2	教職員	100	0	<p>学校関係者が100%、保護者が95%、生徒が98%、教職員が100%となっている。</p> <p>○全てで高い数値を示しておりソーシャルスキルトレーニング等の成果であるとする。</p> <p>▲生徒の2%が友だちと仲良く生活することができていないと回答している状況から、個別の支援を行うなど全ての生徒が安心して過ごせる環境づくりに取り組んでいきたい。</p>
対象	評価4 (%)	評価3 (%)														
学校関係者	100	0														
保護者	95	5														
児童生徒	98	2														
教職員	100	0														

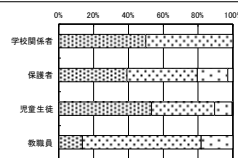
<p>6 環境づくり</p>	<p>学校から(%は、評価4と評価3の割合)</p>															
<p>生徒は、美しい学校づくりに努めている。</p>  <table border="1"> <caption>6 環境づくり</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>評価4 (%)</th> <th>評価3 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>90</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>91</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>82</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>	対象	評価4 (%)	評価3 (%)	学校関係者	100	0	保護者	90	10	児童生徒	91	9	教職員	82	18	<p>学校関係者が100%、保護者が90%、生徒が91%、教職員が82%となっている。</p> <p>○学校関係者、保護者、生徒の評価は90%を超えており、高い評価と言える。</p> <p>▲教職員については本校の共通実践事項である「無言清掃の取組」が十分でないという反省があげられている。「無言清掃の意義」について生徒と共有が必要であるとする。</p>
対象	評価4 (%)	評価3 (%)														
学校関係者	100	0														
保護者	90	10														
児童生徒	91	9														
教職員	82	18														

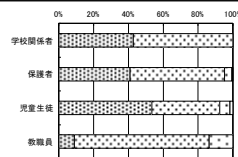
<p>7 学習への取り組み</p> <p>生徒は、学校での学習に励んでいる。</p> 	<p>学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>学校関係者が100%、保護者が80%、生徒が92%、教職員が91%となっている。</p> <p>▲生徒、教職員と保護者の意識の差が大きい。</p> <p>◇より主体的に学習に取り組めるように「自分の考えを他者に伝える力の育成」、「主体的な活動を促す指導法」等について校内研修等を中心に組織として今後も取り組んでいく必要がある。また、学習内容や学習の成果等についても学校側から保護者に積極的に発信していく必要がある</p>
---	--

<p>8 学習の理解</p> <p>生徒は、授業がよく分かっている。</p> 	<p>学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>学校関係者が100%、保護者が64%、生徒が81%、教職員が82%となっている。</p> <p>▲生徒と保護者・教職員の意識の差が大きい。県学力学習状況調査の結果から、授業では「自分の考えを発信していく場の設定」や「基礎的・基本的事項の定着確認の場」を設けるなど全教科で授業改善の視点を持ち、学力向上に取り組んでいく必要がある。また学習の状況等を保護者にも発信することも重要であるとする。</p>
---	--

<p>9 家庭学習(予習復習)</p> <p>生徒は、家庭学習(予習や復習)に取り組んでいる。</p> 	<p>学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>学校関係者が100%、保護者が58%、生徒が82%、教職員が91%となっている。</p> <p>▲保護者の評価が低い数値を示している。家庭での学習習慣形成については、家庭での情報端末使用時間の増加に伴い、十分な家庭学習の時間を確保できていない生徒の割合が増加傾向にあるのではないかと懸念している。家庭学習の質的転換について保護者と課題を共有しながら検討、提案、実践していく必要がある。</p>
--	--

<p>10 読書</p> <p>生徒は、よく本を読んでいる。</p> 	<p>学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>▲学校関係者が83%、保護者が32%、生徒が38%、教職員が50%となっており、経年比較においても常に低い数値を示している項目である。</p> <p>朝自習での取組で読書活動を推進しているが数値の向上はあまり見られていない。読書や学習を行う時間が情報端末の影響を受けていることも考えられるためこれらの課題を含めた新たな対策を講じていく必要がある。</p>
---	---

<p>11 食に関して</p> <p>生徒は、給食や家庭での食事では好き嫌いなく何でも食べている。</p> 	<p>学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>学校関係者が100%、保護者が80%、生徒が89%、教職員が82%となっている。</p> <p>○教職員の評価が上期と比較して34%向上している。これは給食の残食数を減らす取組を学校総体として行ったためであるとする。</p> <p>◇食は健康な体づくりの基本である。今後も食育を推進し、生涯にわたって豊かで健康な生活を送っていくために適切な食の選択ができる力を身につけていきたい。</p>
--	--

<p>12 心身ともに健康な生活</p> <p>生徒は、心身ともに健康な生活を送ることができている。</p> 	<p>学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>学校関係者が100%、保護者が95%、生徒が92%、教職員が86%となっている。</p> <p>○上期と比較して比較して保護者の数値が5%、教職員の数値が9%向上している。</p> <p>◇食育の推進や新型コロナウイルス感染症予防対策等の影響を受けて、数値が向上しているものと思われる。引き続き、感染症予防対策や基本的な生活習慣についての指導等に力を入れていきたい</p>
---	--

<p>13 運動について</p> <p>生徒は、体育や部活動で体づくりに取り組んでいる。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>学校関係者が89%、保護者が80%、生徒が85%、教職員が82%となっている。</p> <p>▲上期と比較して教職員は、5%数値が低下している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための部活動停止期間の影響を受けたものと考ええる。</p> <p>◇引き続き部活動だけでなく、生徒の体力向上のために教科体育の充実やニュースポーツなど全校的な取組を継続していく必要がある。</p>

<p>14 家庭・地域との連携</p> <p>稜南中では、地域と連携した教育活動ができていると思う。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○学校関係者が100%、保護者が91%、生徒が84%、教職員が73%となっている。</p> <p>▲上期と比較して保護者が、5%向上している。教職員の評価が低いのは新型コロナウイルス感染症のため地域と連携した活動が中止となったことが影響している。</p> <p>◇新型コロナウイルス感染症の影響で地域との関わりが少なくなってきたが、生徒の頑張りや成果を積極的に発信することで「地域を元気にする学校」を目指していきたい。</p>

<p>15 学校情報の定期的発信</p> <p>稜南中は、学校だよりやホームページ、学校メール等で情報発信を行っている。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○学校関係者が100%、保護者が95%、生徒が91%、教職員が91%となっている。</p> <p>◇学校メールやホームページの活用を推進し、高い評価を得ることができている。学校ホームページのアクセス数も増加傾向を示している。今後も「地域に元気を届ける」ために各学年部から生徒の様子を発信するなど積極的な情報発信に努めていきたい。</p>

<p>16 キャリア教育について</p> <p>生徒は、自分の将来を考え、目標を立てて取り組むことができている。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>学校関係者が100%、保護者が58%、生徒が76%、教職員が68%となっている。</p> <p>▲保護者、教職員が低い数値を示している。学校で行ったキャリア教育が生徒の姿として表れていないことが課題であると考ええる。経年比較においても高い数値を示していない項目でもあるため、学校の課題と捉え対策を行って行く必要がある。</p>

<p>17 生徒を大切にされた教育</p> <p>私は生徒を大切にされた教育を行っていると思う。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>学校関係者が100%、保護者が88%、生徒が89%、教職員が100%となっている。</p> <p>▲保護者、生徒と教職員の評価に差がある。これは教職員の思いが十分に生徒、保護者に届いていないケースがあるものと考ええる。</p> <p>◇一人一人の生徒を大事にした教育を行うことは、学校教育の基本である。そのためにもそれぞれの生徒にしっかり向き合うとともに、指導や助言・支援等をする場合には、それぞれの生徒が指導や助言等のねらいをしっかり理解できるように丁寧な対応を一層心がけていくようにする必要がある。</p>

<p>18 教師への相談</p> <p>私は生徒に教育相談等きめ細やかな指導ができていると思う。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>学校関係者が100%、保護者が85%、生徒が84%、教職員が81%となっている。</p> <p>▲教育相談については、生徒が相談しやすい体制づくりを行うことが重要である。そのために生徒と向き合う時間を作るための働き方改革の推進やスクールカウンセラー等の専門家を活用した相談体制の確立を進めていきたい。</p>

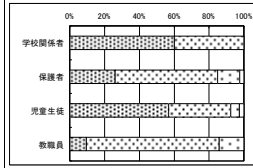
19 適切な評価・評価

学校から(％は、評価4と評価3の割合)

私は、生徒の実態をよく把握し、適切な評価・評価ができています。

学校関係者が100%、保護者が85%、生徒が93%、教職員が86%となっている。

○上期との比較では、教職員の数値が5%向上している。



◇評価に関しては、新学習指導要領完全実施に伴い評価基準を明確にした説明責任を果たしていく必要がある。今後も精度の高い評価・評価を行うために、日頃からの評価材料の蓄積や生徒の実態把握に努めていきたい。